

1. 病棟の具体的な目標と評価

1) 安全で質の高い看護を提供する

ICUではデイリーカンファレンスの他、患者の状態変化・治療方針変更時に行ったカンファレンス内容を記録に残し情報共有に取り組んだ。CCUでは入室10日以上患者に拡大カンファレンスを検討し28件全症例に実施できた。PCCUではデスクカンファレンスを1件実施し、患者・家族との関わりを振り返った。DPCⅡ期間を超える患者もおり、今後はDPCⅡ期間を意識した早期の方針確認等のカンファレンス実施が課題である。感染対策では、COVID-19に関連し、PCR結果待ちの疑似症患者の緊急心臓カテーテル検査について、ICTと共に対策を考え、フローを作成することで対応の周知ができ、医師と協力して適切に対応できた。

2) 病院経営に参画する

病床利用率は年間平均でICU:71.5%(前年度72.8%)、CCU:77.5%(前年度78%)、PCCU:72.7%(前年度75.3%)であり、いずれも利用率は低下していた。しかし、PCCUでは、夜間緊急入院用に6床確保する必要があり、病床管理師長や後方支援病棟とも協力し、5~6床確保を維持でき、夜間の救急受け入れに取り組むことができた。病床利用率低下には、COVID-19の影響もあると考えられるが、引き続き病床利用率の目標値を意識し利用率の維持・向上に取り組んでいく。

3) 患者の視点に立った医療安全を推進する

インシデント発生時、ICU・CCU・PCCU各々で院内手順を合わせて振り返りを行い、また要因分析や対策を考えた。類似したインシデント防止の為に、病棟全体でも共有していくことが課題である。

4) 専門職としての能力開発に努める

職場教育の充実では、部署ごとに特殊性や新人・転入者・若手看護師の教育目標を踏まえて、勉強会を計画に沿って進めることができた。新人の育成・支援では、3部署全体での教育チーム会で各部署の新人の状況を情報共有することで、夜勤導入のタイミングや遅出勤務の調整を話し合い例年よりも早く夜勤導入することができた。学会発表や認定看護師の講師派遣、他施設からの研修生受け入れも積極的に行った。

5) 看護の先輩として学生指導に携わる

統合実習のみの受け入れだったが、学生からの「実習指導者から適切な指導を受けることができた」の評価が5.0と平均より高評価であった。一貫した指導ができるように学生指導用の連絡ノートを活用し、情報共有することで継続した指導ができたためと考える。

2. 病床運営状況

表1 令和2年度 病床運営状況

看護単位	収容可能病床数 (床)	月平均		平均在院患者数 (人)	平均在院日数 (日)	病床利用率 (%)	病床稼働率 (%)	重症加算病床		集中治療室		死亡者数 (人)
		新入院患者数 (人)	退院患者数 (人)					病床数 (床)	稼働率 (%)	病床数 (床)	稼働率 (%)	
PCCU	20	80.2	34.4	14.5	7.7	72.7	78.4	12	71.0			10
ICU	6	7.5	1.7	4.3	28.5	71.5	72.4			6	72.5	19
CCU	4	13.2	1.6	3.1	12.8	77.5	78.8			4	78.9	7

3. 看護体制

表 2 令和 2 年度 看護体制

配置人数(人)	看護方式	夜勤体制(準:深)	夜勤体制(準:深)	夜勤体制(準:深)
73	固定チームナーシング	ICU 3:3	CCU 2:2	PCCU 3:3

4. 看護統計

1) 重症度、医療・看護必要度

表 3 令和 2 年度 一般病棟 重症度、医療・看護必要度 II (PCCU)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準を満たす患者の割合(%)	49.9	54.9	48.7	47.3	51.6	47.5	55.0	53.0	58.8	58.7	57.0	60.2	53.6

表 4 令和 2 年度 特定集中治療室 重症度、医療・看護必要度 (ICU・CCU)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
ICUの基準を満たす患者の割合(%)	95.5	95.8	96.8	95.9	94.0	96.0	94.5	94.7	92.2	85.0	92.5	89.0	93.5
CCUの基準を満たす患者の割合(%)	94.7	97.9	85.4	83.0	89.6	75.8	95.7	77.6	90.6	90.2	91.4	84.0	88.0

2) 部署データ

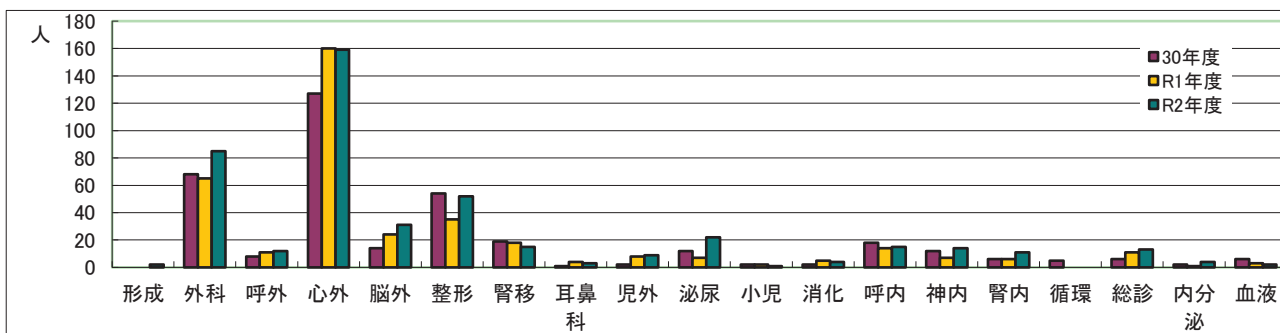


図1 ICU 診療科別入室患者数

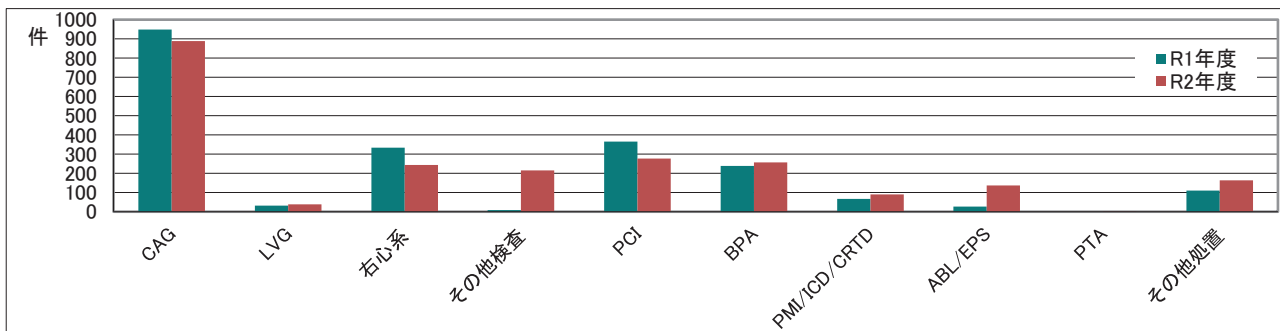


図 2 5 階カテーテル検査室 心臓カテーテル件数(検査及び治療・処置)

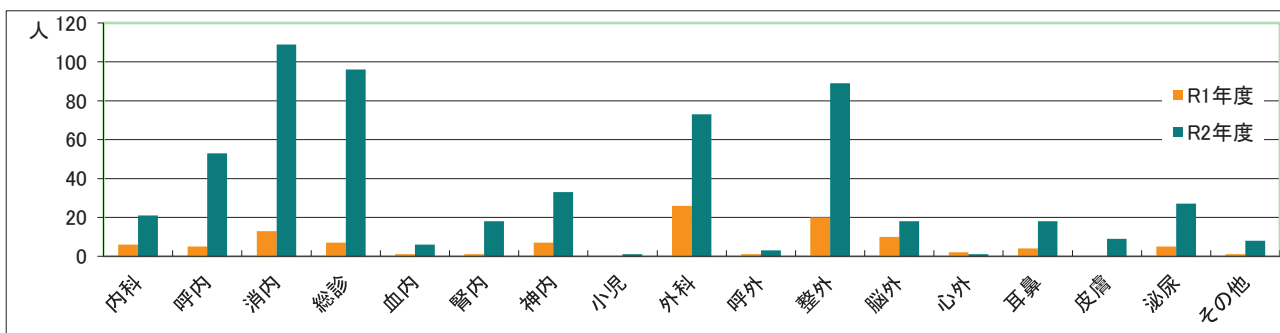


図 3 PCCU 夜間 他科救急患者診療科別入院患者数

5. 研究実績

1) 看護研究発表・研究会発表

- A) バルーン肺動脈形成術後の身体的活動と QOL の変化
谷川 侑加
日本循環器学会 2020 年 7 月 15 日
- B) ヒックマンカテーテルトラブルから見た効果的安患者指導
沖 陽花
第 5 回 日本肺高血圧・肺循環学会 学術集会 2020 年 9 月 26 日
- C) ICU日記がICU入室中の患者の記憶と精神状態に与える影響
佐々木 由衣
第 48 回日本集中治療医学会学術集会 2021 年 2 月 14 日
- D) ヒックマンカテーテルを長期留置できた患者背景から考える効果的な患者指導
村上 明華
第 85 回日本循環器学会学術集会 2021 年 3 月 7 日